

# キャリア教育の導入による JABEE 教育プログラムの強化



肥 後 盛 秀

キャリア教育の重要性が指摘されていますが、理系の教育プログラムにおいて、新たにキャリア教育を導入するにはどうすれば良いのか難しい問題です。理系の学生には日々継続的な専門科目の学習とともに、実験・実習や研究が要求されています。キャリア教育を表面的に捉えて安易にこの科目を新設すると、学生の勉学の負担を増してしまいます。そもそもキャリア教育導入は長引く景気の低迷により総じて就職内定率が低下したことに端を発していますが、本来の目的は、大学全入時代を迎えて将来へのビジョンを持たずに入学する、または高等学校までの教育課程の中で十分に考え抜く力を醸成できていない学生が増えたことへの対応にあります。したがって、就職難の問題のみの対策として画一的なキャリア教育科目を導入するのではなく、それぞれの教育課程の事情に応じた柔軟な教育プログラムの構築が必要だと思います。特に日本技術者教育認定機構（JABEE）教育プログラムを導入している全国の大学の日本及び国際社会に貢献できる学生の<sup>かんが</sup>人財輩出に期待するところが大きいことを鑑みれば、既に導入されている JABEE 教育プログラム内のキャリア教育に該当する関連項目を補強し充実させることが現実的であり効果的です。

キャリア教育は激しい競争社会において卒業・修了生が不測の事態に直面した時、その状況を好機に変えることのできる知恵と工夫、すなわち考え方や意思決定のための「枠組み」を教えることだと思います。これは JABEE 教育の基幹である「デザイン能力」の養成に対応します。「デザイン能力」とは、与えられた研究課題の解答が明確ではない場合、あるいは複数の解答があると考えられる場合において、各人がそれぞれの得意とする方法や手段を用いて適切な解答に<sup>たど</sup>辿り着く能力のことです。理系学生の最大の強みは、卒論や修論において論理的な思考力を身につける訓練の機会に恵まれていることです。したがって、学生が学業や研究とその発表のプロセスにおいて、身に付けた基礎及び専門知識を最大限に活用して PDCA サイクルを駆使していけば、研究課題の解決と同様に就職や進路などの人生上の問題も乗り越えられるはずで、このことに私たち教員が意識して、日々学生に専門教育を行っていくことが大切だと思います。

JABEE プログラム修了者が技術士補となり、更に高い技術者倫理を備えた技術士となり、その存在の重要性が社会的に認められ広く受け入れられていくためには、技術者としての高度なテクニクとそれを支える人間性が芽生える素地を準備することが高等教育機関には必要だと思います。JABEE 教育においては、エンジニアリングデザイン能力やコミュニケーション能力、またチームで作業する能力の養成を重視します。理系教育において専門的なテクニクを身につけることは大前提であることは言うまでもありませんが、今社会が期待する理系学生はテクニクと人間性の両面を兼ね備えた人財だと思います。JABEE 教育プログラムへのキャリア教育の導入とともに、人間としての<sup>たくま</sup>逞しさや辛抱強さといった精神的な教育や豊かな人間性を養成する重要性を切実に感じています。

〔Morihide Higo, 鹿児島大学大学院理工学研究科, 日本分析化学会九州支部長〕